

皮膚又は髪に付着した時は多量の水と石鹼で洗い、衣類が汚染された時は直ちに全てを取り除くこと。

皮膚刺激が生じた時は、医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

廃棄 : 内容物や容器等の製品付着物は、関係法令に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名	含有率	化学特性	化審法番号 安衛法番号	CAS No.
合成樹脂類	10～30%	—	あり 整理番号なし	—
植物油	40～60%	—	あり*2 あり*3	あり
顔料	10～60%			あり
カーボンブラック	*			1333-86-4
酸化チタン (IV)	*		あり	13463-67-7
C.I.Pigment Blue 15:3	*		整理番号なし	147-14-8
C.I.Pigment Green 7	*			1328-53-6
C.I.Pigment Green 36	*			14302-13-7
鉱油	10%未満	—	あり 整理番号なし	あり
助剤	5%未満	—	あり 整理番号なし	あり
コバルト化合物	1%未満	—	あり あり	あり
その他	1～5%	—	—	—

* 各色相毎の含有率については、15. 適用法令に記載

化審法番号：(*2 の記載がある場合、対象外を含む。)

安衛法番号：(*3 の記載がある場合、対象外を含む。)

4. 応急措置

下記の応急措置を施すとともに、直ちに医師に連絡をとりその指示に従う。

- 吸入した場合 : 負傷者を新鮮な空気のある場所に移動し、休息させる。
嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。水でうがいをする。
- 皮膚に付着した場合 : すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。
皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹼水で洗う。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流す。
眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い、医師の診断を受ける。
眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。
- 飲み込んだ場合 : 嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。
事故の場合又は気分が悪いときは、直ちに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受け、この容器に記載された注意事項やラベル、MSDSを示す。
飲み込んだ場合は、水で口内を洗う (その人の意識がある場合のみ)。

応急措置をする者の保護 : 救急者は、保護具を着用する（曝露防止措置の注意事項を参照）。
 医師に対する特別注意事項 : 直ちに医師の診断を受け、この容器に記載された注意事項又はMSDS示す。

5. 火災時の措置

消火剤 : 泡、噴霧水、乾燥砂、粉末。
 特定の消化方法 : 周辺火災の場合 : 移動可能な場合、容器、梱包及び周辺に散水し冷却する
 着火した場合 : 火元（燃焼源）を断ち適切な消火剤を用いて風上から消火。
 消火を行う者の保護 : 火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具（送気マスク、自給式呼吸器等）を着用する。

6. 漏出時の措置

関係法規に準拠して作業する。

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 作業者は保護具（曝露防止措置及び保護措置の項を参照）を着用し、風上で作業する。
 屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。
 漏出した場所の周辺にはロープを張る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項 : 漏出物が河川、水路等公共水路に飛散ないように掃き集め容器に回収する。

除去方法

回収 : 掃き集め容器に回収する。

廃棄 : 回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。

二次災害防止策

: 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
 漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。
 万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

7. 取扱い及び保管上の注意

関係法規に準拠して作業する。

取扱い : 容器は注意して取扱い、開ける。
 使用時には飲食しない。
 皮膚との接触を避ける。
 眼との接触を避ける。
 眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。
 すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。
 皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹼水で洗う。

技術的対策

: 静電気放電に対する予防措置を講ずる。
 換気のよい区域でのみ使用する。
 取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗顔設備等を設けその位置を表示する。
 作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。
 適当な保護衣及び眼・顔面用の保護具を着用する。
 取扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。

注意事項

: 取扱いは換気の良い場所で行う。

局所排気装置の設置された場所で作業する。

安全取扱い注意事項：知見なし

保管

適切な保管条件：法規に従った施設に保管する。
熱から離して保管する。
着火源からはなして保管するー禁煙。
容器を密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：取扱いについては全体換気装置又は局所排気装置を設置した場所で取扱う。
取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。

許容濃度

日本産業衛生学会：C.I.Pigment Blue 15:3
第3種粉塵：総粉塵として 8mg/m³
C.I.Pigment Green 7
第3種粉塵：総粉塵として 8mg/m³
カーボンブラック
1mg/m³(inhalated dusts)4mg/m³(total dusts)
ACGIH：カーボンブラック
TWA 3.5mg/m³(ACGIH)
酸化チタン (IV)
TWA 10mg/m³(ACGIH)

保護具

呼吸器の保護具：防塵マスク、簡易防塵マスク。
本製品を多量に使用する場合、又は密閉空間で使用する場合には、送気式もしくは自給式呼吸器を推奨する。
手の保護具：ゴム手袋、皮手袋等。
目の保護具：保護眼鏡（ゴーグル型）又は保護面（防災面）
皮膚及び身体の保護具：帯電防止性能を有する、長袖の保護衣及び安全靴を推奨する。

9. 物理的及び化学的性質

製品として

物理的状態

形状：ペースト（消防法固体）
色：特定できない
臭い：特異臭

物理的状態が変化する特定の温度・温度範囲

：データなし

引火点：140℃（クリーブランド開放式）

密度：データなし

10. 安定性及び反応性

通常の保管及び取扱いの条件では安定と考えられる。

11. 有害性情報

製品として

発がん性 : 参考データ (IARC、がん原生) 3 : 人に対する発がん性については分類できない

C.I.Pigment Blue 15:3 として

急性毒性 : 経口 ラット LD50 \geq 5,000mg/kg

C.I.Pigment Green 7 として

急性毒性 : 経口 ラット LD50 \geq 5,000mg/kg

カーボンブラックとして

急性毒性 : 経口毒性 ラット LD50 $>$ 15,400mg/Kg

経皮毒性 ラビット LD50 $>$ 3g/Kg

発がん性 : 第2群B (産衛学会)

12. 環境影響情報

製品として

生体蓄積性 : 情報なし

13. 廃棄上の注意

この製品及び容器・包装材は安全な方法で廃棄しなければならない。

内部処理の場合

: 法令に従って、残余廃棄物、製品の包装材を廃棄処理する。
法的規制に適合した設備と方法で焼却処理を行う。
焼却条件によっては有毒ガスが発生する可能性があるため、除害装置のある焼却炉の使用を推奨する。

外部委託処理の場合

: 産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、廃棄物の内容を明確にして、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国連分類 : なし

国連番号 : なし

容器等級 : なし

特定の安全対策及び条件 : 保護具、消火器を携帯する。
必要であれば、イエローカードを携帯する。
梱包や袋が破れないように丁寧に取扱う。
荷崩れ、水濡れを防止する。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2別表9)

カーボンブラック (政令番号: 130) : 墨 15~25%

鉱油 (政令番号: 168) : 10%未満

酸化チタン (IV) 政令番号: 191) : 白 40~50%

コバルト及びその化合物 (政令番号: 172) : 1%未満

銅及びその化合物 (政令番号: 379) : 藍、草、紺藍、群青

5~20%

毒物及び劇物取締法 : 該当しない

消防法	: 法第9条の4・危険物規制令別表第4 指定可燃物 可燃性固体類
大気汚染防止法	: 有害大気汚染物質(法第2条第13項、環境庁通知) (黄、等が該当)
外国為替及び外国貿易法	: 輸出貿易管理令別表第1の16項に該当するので、経済産業省のガイドラインの参照や事前相談望ましい。
水道法	: 有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101) (藍、群青、紺藍、草等が該当)
下水道法	: 水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4) (藍、群青、紺藍、草等が該当)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: 該当しない

16. その他の情報

印刷インキを用いた印刷工程はIARC 2B(暴露環境はヒトに対して発がん性があるかもしれない暴露を伴う)に分類されています。

本文書は製品の安全情報を記したものです。品質保持上の諸要件については技術資料、仕様書等をご参照下さい。

保護具に関する詳細については(社)日本保安用品協会(TEL:03-5804-3125)にお問い合わせ下さい。

参考資料

- : 国際化学物質安全性カード(ICSC) <http://www.nihs.go.jp/ICSC>
- : Registry of Toxic Effects of Chemical Substances(RTECS)
- : 産業環境評価基準
- : 2001 TLVs and BEIs(ACGIH)
- : 米国連邦規則集(OSHA)
- : IARC Monographs on the Evaluation of Carcinogenic Risk to Humans(IARC)
- : 法規制物質リスト(日本ケミカルデータベース)
- : ケミカルデータベース(日本ケミカルデータベース)
- : GHS分類結果データベース(製品評価技術基盤機構 NITE)
- : CHEMGOLD™(ChemWatch)

その他

- : 弱い皮膚刺激性、粘膜刺激性がある。人によって、長時間接触で炎症を起こすことがある。

問い合わせ先

久保井インキ株式会社 技術部

電話番号: 06-6973-6211

FAX 番号: 06-6973-6171

記載内容の変更等

- ・ この「製品安全データシート(MSDS)」は、安全保証書ではありません。
- ・ 本製品を取扱う場合はこの「製品安全データシート」を参考として、使用者の責任において実態に応じた適切な処置を講じて下さい。
- ・ また、「製品安全データシート」の内容は、法令の改正や新しい知見に基づき改定されることがあります。